

事務連絡
平成30年4月1日

厚生労働省健康局結核感染症課
各都道府県感染症対策主管課
各保健所設置市感染症対策主管課
各特別区感染症対策主管課

御中

沖縄県保健医療部地域保健課

麻しん患者の発生について (情報提供)

平素より、本県の感染症対策の推進に御理解と御協力を賜り感謝申し上げます。
さて、標記について、平成30年3月23日付け保地第2029号により情報提供を行いました
が、この度、新たに県内で確認された患者のうち数名が、発熱前日から医療機関を受診する
までに、那覇市内の国内外観光客が多く訪れる地区を行動していたことが分かりました。
つきましては、改めて別添のとおり、注意喚起のため情報提供いたします。



沖縄県保健医療部地域保健課
結核感染症班 担当：仁平、久高
TEL：098-866-2215
FAX：098-866-2241

マスコミ各位

平成30年4月1日(日)

沖縄県保健医療部地域保健課 結核感染症班

担当: 山内、仁平、久高

電話: 098-866-2215

那覇市保健所保健総務課 結核感染症グループ

担当: 仲宗根、安藤

電話: 098-853-7971

麻疹(はしか)患者の発生について(第三報)

1 報道関係者の方へ

平成30年3月23日に、本県では平成26年以來となる麻疹患者が発生し、3月29日には2名の麻疹患者が発生したことを報告しましたが、3月31日に、新たに5名の麻疹患者が確認されました。今後、更なる麻疹患者の発生が考えられることから、各医療機関および県民への注意喚起を宜しくお願い致します。

麻疹患者が周囲の人へ感染させる期間の始まりは、症状が出る1日前からとされています。初発患者と新たに確認された患者のうち3名は、周囲へ感染させる可能性がある期間中に、多くの方との接触があったと考えられます。

下記の患者情報を参考に、該当する地区へ行かれた方で、健康観察期間中に発熱、発疹等の症状が現れた場合は、必ず事前に医療機関に「麻疹かもしれない」ことを連絡
のうえ、医療機関の指示に従い受診してください。

なお、感染症法の趣旨に則り、患者やその家族・関係者について、本人等が特定されることがないよう、格段のご配慮をお願い致します。

2 県民の皆様へのお願い

麻疹は、感染力が非常に強く、小児が感染すると肺炎、中耳炎、脳炎などの合併症を起すことがある感染症です。本県においては、平成11年から13年の麻疹流行時に、9名のこどもが犠牲になっていきます。

現在、非常に多くの方が、麻疹患者と接触した可能性があります。流行が拡大すると、抵抗力の弱い乳幼児が犠牲になるので、麻疹の拡大防止について、ご理解とご協力を宜しくお願い致します。

3 患者の情報

患者 No.	年齢	性別	居住地	予防接種歴	発熱日	検査確認日	推定感染源	備考
1	30代	男性	台湾	不明	3/14	3/20	国外	初発例。3/17から沖縄本島内を旅行
2	40代	女性	石垣市	有 (1回)	3/27	3/29	3/17にNo.1と接触	
3	30代	男性	中部管内	無	3/28	3/29	3/18にNo.1と接触	
4	20代	男性	那覇市	不明	3/25	3/31	3/17にNo.1と接触	
5	0歳	男性	那覇市	無	3/25	3/31	不明*	
6	30代	男性	那覇市	不明	3/27	3/31	3/17にNo.1と接触	
7	40代	男性	那覇市	不明	3/29	3/31	不明*	
8	6歳	男性	中部管内	無	3/25	3/31	不明*	

※ No.5、7、8の症例は、初発患者が那覇市内を観光した3月17日に、同じ那覇市内大型商業施設を利用されています。

【患者行動歴及び健康観察期間】

患者 No.	行動歴	健康観察期間
1	3/17 (土) 那覇市国際通り及び新都心 3/18 (日) 那覇市国際通り、糸満市西崎、北谷町美浜 3/19 (月) 今帰仁村古宇利島、名護市内	3/24 (土) ~4/9 (月)
4	3/25 (日) 那覇市国際通り 3/26 (月) 発熱。那覇市国際通り及び近辺 3/27 (火) 那覇市国際通り及び近辺	
5	3/25 (日) 那覇市新都心地区 3/26 (月) 発熱。	3/31 (土) ~4/17 (火)
6	3/26 (月) 那覇市国際通り及び近辺 3/27 (火) 発熱。那覇市国際通り	

4 麻しん (はしか) について

原 因：麻しんウイルス

潜伏期間：10～12日

主な症状：感染すると約10日後に発熱や咳、鼻水といった風邪のような症状が出現。2

～3日熱が続いた後、39℃以上の高熱と発疹が出現。

肺炎、中耳炎を合併しやすく、また、10万人に1人程度と頻度は高くはないものの、麻しんウイルスに感染後、特に学童期に亜急性性硬化性全脳炎 (SSPE) と呼ばれる中枢神経疾患を発症することがある。

感染経路：空気感染 (麻しんウイルスの空气中での生存期間は2時間以下)

感染症法：五類感染症

予 防：予防接種が有効

麻しんに感染しないためには、予防接種が重要です。
麻しんの定期予防接種対象 (第1期：1歳、第2期：小学校入学前) の方は、早めに予防接種 (MRワクチン) を受けましょう。
定期予防接種以降でも、以下に該当しない方は、MRワクチンを受けましょう。
○母子手帳などで麻しんワクチンを2回以上受けた記録がある
○過去に麻しんに罹ったことが確実である (検査で確認されたことがある)

参考【あなたは何年生まれですか？ワクチン接種状況チェック！】

麻しん	ワクチン接種の状況
昭和52年以前生まれの者	定期接種が行われていませんでしたが、自然に麻しんに感染する世代でもあるので、免疫がある人といえます。
昭和52年～平成2年以前生まれの者	定期接種を受ける対象になっていましたが、1回みの接種となっています。麻しんの免疫が低い可能性があります。低い場合は、修飾麻しんといって、自身は比較的軽い症状ですが、周囲に感染させてしまう恐れがありますので、2回接種を必要とします。
平成3年以降生まれの者	定期接種2回接種の世代です。母子手帳を確認の上、接種が行われていない場合は、MRワクチンを接種して下さい。